

令和6年度都立立川国際中等教育学校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	ICT活用を通じて、探究的な学びの力を高める	ICT(ロイロノート、Teams、Forms)を活用して、課題解決に向けた取り組みを仲間と共有しながら、協働的な学習活動を深められるようにする。	成果をTeamsやロイロノートで共有したり、相互評価をしながら自己の学習を振り返り、考察したりする活動を展開する。
地歴公民	探究学習を通じて、「学びを深める力」を育てる	各授業に、生徒の個人での活動や協働学習の活動を組み入れた課題を設定し、問題解決に向けて、論理的に考察する活動を重視した授業を実施する。	協働学習での問題解決の過程を、Teamsを活用して視覚的に共有できるようにし、考察を相互に深めたり、評価しやすいICTの活用を取り入れた授業を実践する。
数学	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感させ、事象を数学的に解釈し、粘り強く考え、数学的に表現・処理する技能を確実に身に付ける。	事象を数学的に捉え、表現・処理し、論理的に考察する力を育成させるため、そのベースとして、計算力等、基礎的な力を前期のうちから徹底して身に付けさせる活動を実施する。応用力を身に付けやすくするために、基礎力の強化を徹底して養う取組を実施する。	前期から基礎力の定着を徹底させる中で、それを数学的に考察し、表現・処理する力を高めていく。さらに、小中高一貫校であることも考え、小学校算数及び中学校数学、高校数学を一貫して、統合的・発展的、体系的に取り組める体制を意識しながら取り組んでいく。
理科	国際リーダー育成のためには豊かな知的好奇心を養う必要がある。そのために、さまざまな体験・学習活動を充実させ、自然科学の基本的な見方・考え方を育む。	・本物に触れること、観察実験を通じ、生徒が感性をはたらかせ、科学的な問いを自ら立てる機会をつくる。 ・生徒自らが「比較」「推論」「関係づけ」等の思考法を活用し、結果に解釈を加え、対話や議論ができる工夫を行う。	・「探究」とのつながりを考え、科学的な問いを立てる力をより一層、向上させる。 ・根拠を持った仮説と、定量的な検証方法等、課題発見・思考力向上と、自然事象の底にある原理法則への理解を深める工夫をする。 ・オープンエンドの構成をもった授業や発展的な内容を取り入れる。
英語	Writingにおける自らのProof reading能力の向上	ライティングの授業を実施した際は、自らの作文をチェックする時間を設ける。	Peer feedbackの時間を設ける。 ネイティブ教員によるcorrection codeを使った添削をする。